

— JAL グループの非航空領域における中核会社として空港リテール事業を拡大 —
空港宅配・旅行関連サービス「JAL エービーシー」を子会社化

- ・ JALUX が JAL エービーシーを子会社化
- ・ 既存の空港リテール物販事業との連携、グループシナジー追求により空港リテール事業全体の規模を拡大
- ・ 「旅マエ」「旅ナカ」「旅アト」において、お客様の利便性向上に繋がるサービスの充実化を図る

株式会社 JALUX（ジャルックス、所在地：東京都港区）は、2023年6月30日付で株式会社 JAL エービーシー（所在地：東京都中央区）を子会社化しました。JALUX は、JAL グループの「非航空領域におけるコマース・サービスの中核会社」として、さらなる企業価値向上を目指すため、既存の「JAL DUTYFREE」や「BLUE SKY」などの空港リテール物販事業に加えて、このたび新たに空港宅配・旅行関連の空港サービス領域を JALUX グループに取り込み、空港リテール事業全体の規模拡大を図ってまいります。

JAL エービーシーは、「旅を、便利に、もっと楽しく」をモットーに、空港内のサービスカウンターにて空港宅配サービス、WiFi ルーター・自動翻訳機の貸出しのほか、渡航申請のサポートなど、国際線旅客の増加に合わせ多様化・高度化するニーズに対応したさまざまなサービスを提供しています。

JAL グループの「非航空領域におけるコマース・サービスの中核会社」に位置する JALUX は、JAL エービーシーの経営理念を尊重しながら、同社とこれまでにない強力な連携を図り、シナジーを創出することで、今後も増加が予想される国内外のお客様に対する空港内サービスの利便性向上、ならびに JALUX グループ全体の企業価値向上を実現してまいります。将来的には空港外でのサービスを含めた協業を進め、お客様の「旅マエ」「旅ナカ」「旅アト」を包括的にサポートできる充実したサービス展開を目指してまいります。

■ JAL エービーシー企業ロゴ



■ JAL エービーシーの空港内カウンター



【JAL エービーシー 会社概要】

JAL エービーシーは、成田国際空港の開港以来、日本の国際化に合わせ、空港宅配サービス、WiFi ルーター・自動翻訳機の貸出し、SIM カードの販売、手荷物やコートの一時的預かり、スーツケースレンタル、ETAS（オーストラリア電子ビザ）や ESTA（アメリカ電子渡航認証）の申請代行などのサービス事業を展開しています。現在、成田・羽田・新千歳・伊丹・関西・中部の国際空港において、直営カウンター 11 店舗、協業カウンター 4 店舗、提携カウンター 5 店舗の計 20 店舗を運営しています。

設 立	1977年12月
代 表 者	代表取締役社長 中村 誠詞
資 本 金	1億円
本 社 所 在 地	東京都中央区築地 3-9-9
主な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空港宅配手荷物の取扱業務 ・ 海外用および国内用の携帯電話・WiFi ルーターなどのレンタルサービス ・ 空港での手荷物一時預かりサービス（防寒具預かりなど） ・ 空港での取次サービス（物品、書類等の引き取りおよび引き渡し） ・ 空港での手荷物のハンドリングサービス ・ スーツケースのレンタルサービス ・ ETAS（オーストラリア電子ビザ）申請代行業務 ・ ESTA（アメリカ電子渡航認証）申請代行業務
企 業 H P	https://www.jalabc.com/

【JALUX 会社概要】

JALUX グループは、空港リテール事業として、成田・羽田の国際空港に免税店「JAL DUTYFREE」、全国の主要 24 空港に「BLUE SKY」を展開しています。また、商社として、お客様の旅をサポートする各種旅行保険事業や便利な旅行関連グッズの企画開発・販売など、多岐にわたる事業を行っています。

設 立	1962年3月
代 表 者	代表取締役社長 高濱 悟
資 本 金	25億5,855万円
本 社 所 在 地	東京都港区港南 1-2-70
主な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 航空・空港事業 ・ ライフサービス事業 ・ リテール事業 ・ フーズ・ビバレッジ事業
企 業 H P	https://www.jalux.com/

JALUX は「幸せづくりのパートナー～人に社会に環境に、もっと豊かな輝きを～」の企業理念の下、皆さまの暮らしを豊かに彩る商品を提案してまいります。

お問い合わせ 株式会社 JALUX 経営企画部広報・サステナビリティ推進課 kkr@jalux.com